

子どもの“かくれ鼻づまり”、 早期に気づいてきちんと治療を。

たかが鼻づまり、されど鼻づまり。放っておくと睡眠の質の低下や、それにともなう脳の発達の遅れ、成長ホルモン分泌不足も指摘されています。

耳鼻いんこう科が新設 より専門的な診療で 地域の健康をサポート

2020年4月の移転、開院時より、耳鼻いんこう科を新設しました。「耳、鼻、のど」のエキスパートとして、「わかりやすく、そして症状を最短距離で治す」診療を心がけています。

子どもの「かくれ鼻づまり」 多くはアレルギー性鼻炎

子どもの鼻の調子が悪いとき、風邪かな、と思っ一時的な薬の内服のみで様子を見ていることはありませんか？ 子どもの「かくれ鼻づまり」(慢性的な鼻づまり)は年々増加していますが、子どもが自ら鼻の調子が悪いと訴えることはほとんどなく、見逃されているケースも多くあります。原因としては



久山 和重 (くやまかずしげ) 先生

＜主な経歴＞

- ◆ 香川医科大学医学部医学科卒 ◆ 三原赤十字病院 副部長
- ◆ 国立岩国病院 医師 ◆ JCHOりつりん病院 医長
- ◆ 広島市立広島市民病医院 医師

＜専門・実績＞

- ◆ 日本耳鼻咽喉科学会専門医
- ◆ 日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医
- ◆ 身体障害者福祉法 第15条指定医(聴覚・音声・言語)

アレルギー性鼻炎が多く、子どもの場合はホコリやダニが原因の通年性の症状がほとんど。発症も早く、物心ついたときからいつも鼻がつまっているのが当たり前で、本当に鼻が通った状態を知らない子どもも多いのです。

夜に悪化する鼻づまり 睡眠の質が下がることで 発達に影響する場合も

「たかが鼻づまり、されど鼻づまり」。成長過程にある子どもの鼻づまりは、放っておけません。夜寝るときに鼻づまりが悪化すると睡眠の質が低下し、脳がしっかりと休息できません。心身ともに発達過程の子どもの場合は、脳の発達が遅れて集中力がなくキレイやすい性格になったり、成長ホルモンの分泌不足から低身長の原因となったりすることが指摘されています。さらに、口呼吸によるアゴの発達

不良や歯並びの異常、さらには成人の睡眠時無呼吸症候群へ移行しやすくなることも指摘されています。

早期に発見すること 継続した治療が必要

アレルギー性鼻炎は早期に発見し、継続して治療することが必要です。気管支喘息に合併することも多く、喘息単独の治療よりも、合併するアレルギー性鼻炎の治療もあわせて行ったほうが喘息発作をコントロールしやすいことが知られています。すでに小児科などで喘息の治療中の子ども、一度耳鼻いんこう科で鼻のチェックを受けてみてはいかがでしょうか。

アレルギー性鼻炎の 新しい治療法

従来の抗アレルギー薬の服用のほか、「舌下免疫療法(せつかめんえきりょうほう)」という新しい治療法が広まりつつあります。1日1回舌の下にタブレット状の薬を置き、溶かして服用するという方法で、少しずつアレルギーを起こしにくい体質に変えていく治療法です。即効性はなく3〜4年という長期の治療期間が必要であり、子どものうちにこの治療を始めて子どものうちに終わらせてあげることが大切です。

こんな人は相談を

- ・鼻がつまる、鼻水が出る
- ・鼻がつまって寝苦しい
- ・子どもの鼻づまりや鼻血が気になる

出張インフルエンザ 予防接種を行なっています

インフルエンザの集団感染を防いだり、欠勤による業務の滞りを防ぐため、予防接種は大変有効です。感染率が低下したり、感染しても症状が軽くて済むので職場復帰も早まり、長期欠勤による影響を最小限に抑えられます。出張予防接種なら来院の必要もなく、業務中に短時間で接種することが可能です。

料 金 3,000円(税別)
対 象 高松市内で15名以上が接種する場合
(高松市外は応相談)

- 高齢者(65歳以上)の方は各市の補助を受けられます(各市の予防表が必要)
- 当日精算、会社請求、両方対応可能
- 個別領収書の発行可能



医療法人社団 なつめ会 美術館診療所

診療時間・曜日	月	火	水	木	金	土
9:00~13:00	●	●	—	●	●	●
15:00~18:00	●	●	—	●	●	●

※診療時間は診療科により異なります。詳しくはウェブサイトをご確認ください。

診療科 ベイクリニック整形外科/呼吸器内科/循環器内科
消化器内科/耳鼻いんこう科/産科・婦人科/泌尿器科/脳神経外科
リハビリテーション科/検診・人間ドック



tel. 087-881-2776

高松市西西東町433-1
<https://machikuri.or.jp/>

